

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【公表番号】特表2011-512635(P2011-512635A)

【公表日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-016

【出願番号】特願2010-547214(P2010-547214)

【国際特許分類】

F 2 1 V 21/03 (2006.01)

F 2 1 S 8/06 (2006.01)

F 2 1 Y 103/00 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 21/03

F 2 1 S 8/06

F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月21日(2011.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可動性枠組装置であって、特に吊るされた天井用のものであり、

内側フレームと呼ばれ、その基部に広がったウェブ（12）が取り付けられているフレームを含む枠組（4）と、

外側フレームと呼ばれるフレームと、表面に取り付けられる底（8）とを含む枠組用のハウジング（2）と、

前記枠組（4）と前記枠組用のハウジング（2）とを連結させて、該枠組用のハウジングに対して該枠組を傾斜させることのできるヒンジ組立体（28）と

を含み、

前記ヒンジ組立体は、前記底に面している前記内側フレームの一つの面上に取り付けられた第 1 部材と、前記底に取り付けられた第 2 部材とを含み、該第 1 と第 2 の部材は、一方が他方に対して回転可能なように取り付けられており、該ヒンジ組立体の 2 つの部材の一方は摺動可能に取り付けられている。

【請求項 2】

前記第 1 部材は一体の滑り台部材（32）上か、或いは前記枠組（4）の内側フレームの溝（42）に摺動可能に取り付けられている請求項 1 記載の装置。

【請求項 3】

前記第 2 部材が、前記底（8）から垂直に延伸している小さな板（30）と、結合部材板（36）とを含んでおり、該結合部材板は前記ヒンジ組立体の第 1 部材に対して回転可能に装着されている請求項 1 から 2 の 1 つに記載の装置。

【請求項 4】

前記ヒンジ組立体が前記枠組用のハウジングの前記底と一体化されている請求項 1 記載の装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

もしユーザーが望むなら、可動性枠組は、傾斜位置にそれを維持するための手段をも含むことができる。例えば、これらの手段は、単純に、しなやかなコード 26 や紐や鎖から成る。

本発明によれば、可動性枠組装置は、ハウジング 2 の底 8 と枠組 4 の内側フレームを連結するヒンジ組立体 28 を含む。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 図面

【補正対象項目名】 図 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【図 6】

